



さつま町に開かれたあり方を目指して
堀部安嗣のデビュー作

「ある町医者の記念館」と「南の家」

トークと見学会

ト
ー
ク

日時：2020年2月15日（土）14:00-15:00
話し手：堀部安嗣（建築家、京都造形芸術大学大学院教授）
会場：「南の家」
住所：〒895-2201 鹿児島県薩摩郡さつま町求名 3356-11
会費：1,000円
定員：20名（要申込）
申込先：<https://horibe-aa-20200215.peatix.com/>

見
学
会

日時：2020年2月15日（土）13:00-14:00、15:00-16:00
会場：「ある町医者の記念館」と「南の家」
住所：〒895-2201 鹿児島県薩摩郡さつま町求名 3356-11
見学費：500円
申込：不要（時間内に現地へ直接お越しください）

アクセス：鹿児島空港より車で約40分、JR鹿児島中央駅より車で約1時間
問合先：電話 099-285-8291（鹿児島大学工学部建築学科鯉坂研究室）
当日の連絡先：tome.3@me.com（増留麻紀子）

主催：「ある町医者の記念館」活用を考える会
協力：鹿児島大学工学部建築学科有志、堀部安嗣建築設計事務所、木村幸央、森 桜

備
考

- ・現地へはレンタカー等をご利用ください。
- ・スリッパをお持ちください。
- ・会費は会場でお支払いください。お釣りが出ないようにご用意ください。
- ・会場のおトイレは使えません。駅や空港で済ませてお越しください。
- ・撮影は私的使用のみとし、SNSなどwebへの投稿はご遠慮ください。
- ・会費は会の運営費に当てられます。

概
要

鹿児島県のさつま町にある「ある町医者の記念館」は、地元で活躍された医師・前原則知さんの遺品を収蔵・展示する記念館です。また隣接する「南の家」は、前原さんのご子息の週末住宅です。いずれも建築家・堀部安嗣さんのデビュー作で、1995年に竣工しました。記念館はこれまで収蔵を主な目的とし、南の家も個人住宅のため、一般公開はされてきませんでした。2020年に築25年を迎え、今後は町に開かれたあり方を目指していきます。その第一歩として、このたび、2つの建物の見学会と堀部安嗣さんのトークを開きます。遠方ですが、どうぞこの機会にお出かけください。

この2つの建物は、展覧会「堀部安嗣の建築展 懐かしい未来へ向かって」（北九州TOTOミュージアム、2020年3月8日まで）において、映像、写真、模型、図面などで紹介され、また鹿児島大学工学部建築学科の学生たちによる活用案も展示されています。

堀部安嗣（ほりべやすし）

建築家、京都造形芸術大学大学院教授

1967年神奈川県生まれ。1990年筑波大学芸術専門学群環境デザインコース卒業。1991-94年益子義弘に師事。1994年堀部安嗣建築設計事務所設立。25年間に100超の住宅や店舗等を設計。2002年第18回岡賞、2016年日本建築学会賞（作品）受賞。主な作品に「阿佐ヶ谷の書庫」、「竹林寺納骨堂・庫裏・本坊」、「客船ガンツウ」など。著書に『堀部安嗣作品集』、『堀部安嗣 建築を気持ちで考える』、『住まいの基本を考える』など。



上：「ある町医者の記念館」、下：「南の家」
Photo by Yasushi Horibe